

高知大学病院：産科婦人科専門研修プログラム（プログラム責任者：永井立平）

Ⅰ. プログラムの特色

高知大学病院産科婦人科を基幹施設とし、県内外の連携施設と研修施設群を形成しています。連携施設は、分娩の多い施設や県・地域の中核病院で構成しています。各々専門的で特徴的な診療を行っており、施設群をローテートすることで充実した医療を経験できるよう計画しています。

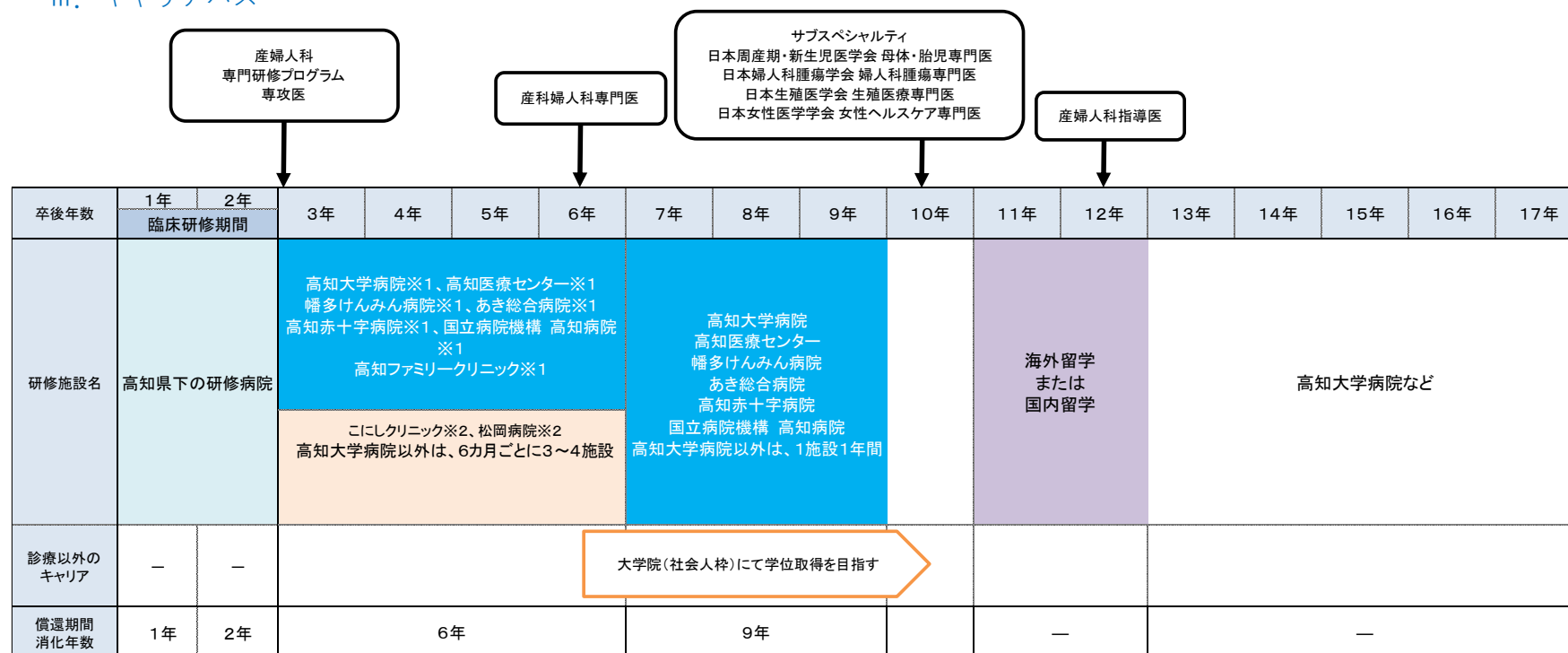
そして、周産期・生殖医療・腫瘍・女性ヘルスケア領域全てで高い質の医療を提供できる専門医の育成を目指します。指導医も施設間で連携し、医療レベルの向上を図り専攻医に質の高い研修を提供します。

Ⅲ. キャリアパス

Ⅱ. 目 標

専門研修修了後の産婦人科専門医は、生殖・内分泌領域、婦人科腫瘍領域、周産期領域、女性のヘルスケア領域の4領域にわたり、十分な知識・技能を持ち、標準的な医療の提供を行う。

また、産婦人科専門医は必要に応じて産婦人科領域以外の専門医への紹介・転送の判断を適切に行い、産婦人科領域以外の医師からの相談に的確に応えることのできる能力を備える。産婦人科専門医はメディカルスタッフの意見を尊重し、患者から信頼され、地域医療を守る医師である。



※1 高知県内の分娩取り扱い施設での研修は、地域に関わらず償還免除期間に算入されます。

※2 こにしクリニック(愛媛県新居浜市)、松岡病院(広島県福山市)での研修は償還免除の対象外となり、期間に応じて償還期間は延長される。

高知医療センター：産婦人科専門医およびサブスペシアルティ取得に向けたプログラム

(プログラム責任者：林 和俊)

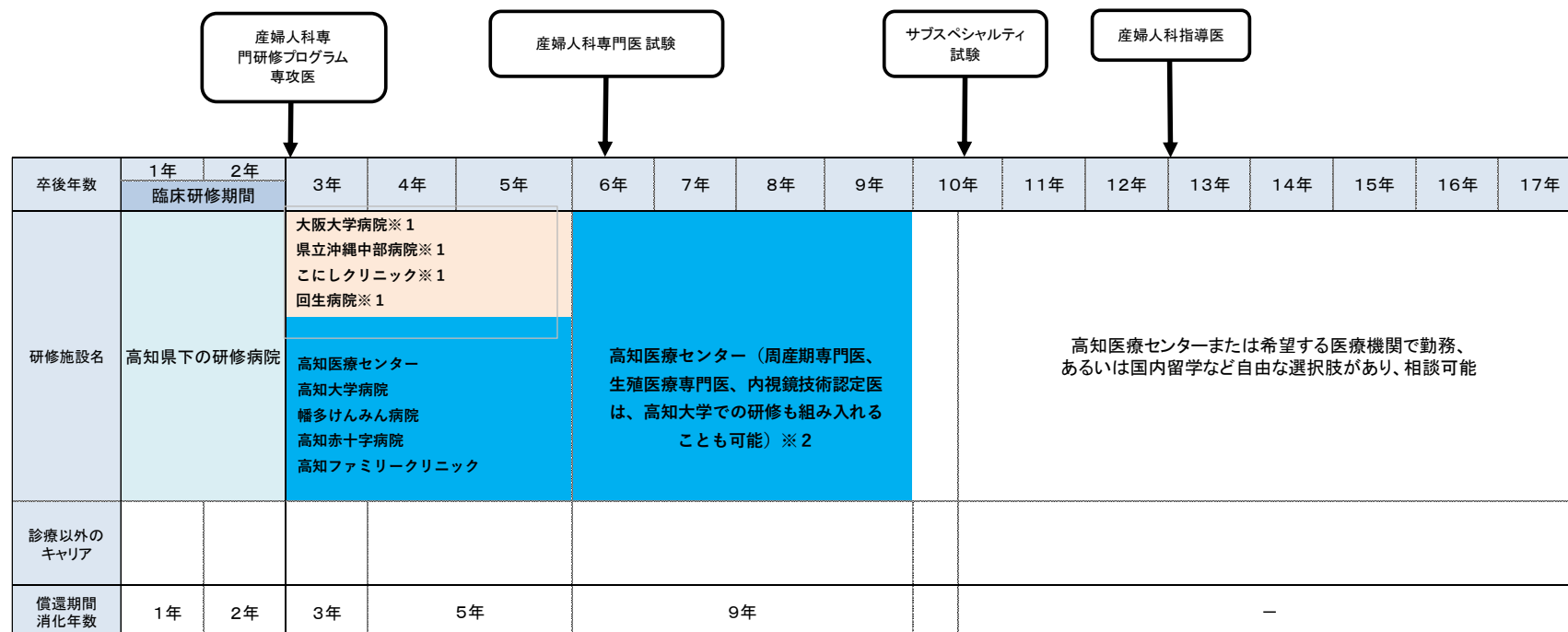
I. プログラムの特色

当院は産婦人科三次医療施設である。総合周産期母子医療センターを有し、周産期症例は豊富であるが、それ以外にも、婦人科、生殖医療の症例も多い。当院での研修で産婦人科専門医取得は十分可能である。6年目に産婦人科専門医を取得した後、更に3年経過後にサブスペシアルティ取得資格が得られる。当院で取得可能なものは、「周産期専門医」「女性ヘルスケア専門医」「生殖医療専門医」「産婦人科内視鏡手術技術認定医」であり、複数のニーズに応えられるプログラムを提供する。

III. キャリアパス

II. 目 標

卒後5年目までに産婦人科医療の基礎を身につけ、その中で自分の希望するサブスペシアルティを決定する。6年目以降9年目まで、産婦人科診療の更なるスキルアップを図りつつ、希望したサブスペシアルティに重きを置いた臨床経験を積むことを目標とする。産婦人科疾患はサブスペシアルティ領域でそれぞれ関連があるので、1つのサブスペシアルティに限定したプログラムとはしない。そうすることで複数のサブスペシアルティ取得も可能となる。



※1大阪大学病院、県立沖縄中部病院、こにしクリニック(愛媛県新居浜市)、回生病院(香川県坂出市)での研修期間は、償還免除の対象外となる。

※2 高知医療センター指導医が定期的に連絡をとり、キャリアアップを確認